

## 家庭教育、社会教育、文化・スポーツの振興等について

### 1 協議内容

幼児教育および家庭教育、社会教育ならびに文化・スポーツの振興をさらに向上させるため、次の視点から協議したい。

- (1) 人間形成に重要な幼児期の教育、家庭や社会での規範意識や社会性の醸成、文化やスポーツの振興による内面の感性、身体の充実など、子どもたちの成長を支える基盤づくりにおいて重視すべきこと
- (2) 生涯を通じて、常に学び続け、今以上に向上しようとする県民気質を生み出すために大切なこと

### 2 主な論点

- (1) 子どもたちの主体性や自主性など社会力を伸ばすためには、幼児期や家庭での教育においてどのような方法が考えられるか。また、子どもを育てる際の課題には何があるか。
- (2) 大人が子どもたちに範を示し、子どもたちと共に学ぶことができるようにするため、生涯にわたる学びの機会をどのように提供すればいいか。
- (3) 文化を通じて子どもたちや県民の感性や地域への愛着などを磨くためにはどのような方法が望ましいか。外国の文化など多様性を理解するための文化教育はどのように進めるべきか。
- (4) 福井しあわせ元気国体の開催を契機として、体力日本一の子どもたちや県民がスポーツを通じて、更に協働意識や集団行動の向上、健康づくりにつなげていくためには、何を進める必要があるか。